

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 1 部門第 2 区分

【発行日】 令和 6 年 11 月 21 日 (2024.11.21)

【国際公開番号】 WO2023/176275

【出願番号】 特願 2024-507612 (P2024-507612)

【国際特許分類】

A 61 M 5/24 (2006.01)

【F I】

A 61 M 5/24 502

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 9 月 12 日 (2024.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

20

中空筒状に形成される筐体と、

薬液が充填されたバレルを有し、前記筐体内に配置されたシリンジと、

前記シリンジを内部に収容すると共に前記シリンジを保持し、前記筐体の軸方向に移動可能に前記筐体内に配置されたシリンジホルダと、

先端方向に突出して穿刺対象を穿刺する第 1 針部と、基端方向に突出した第 2 針部とを有する両頭針と、

を備える薬液投与装置であって、

前記シリンジホルダは、前記シリンジの先端部を径方向内側へ向けて弾性的に付勢することで、前記シリンジホルダの先端部に対して前記シリンジの前記先端部を同軸に保持する保持部を備える、薬液投与装置。

30

【請求項 2】

請求項 1 記載の薬液投与装置において、

前記保持部は、前記シリンジの前記先端部の外周面を周方向の複数個所で径方向内側に向けて押圧する複数の可撓腕を有する、薬液投与装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載の薬液投与装置において、

前記複数の可撓腕は、前記シリンジホルダの周方向に沿って互いに等間隔離れて配置される、薬液投与装置。

【請求項 4】

請求項 2 又は 3 記載の薬液投与装置において、

40

前記シリンジは、前記バレルの先端に装着されたキャップを有し、

前記複数の可撓腕が前記キャップを押圧する、薬液投与装置。

【請求項 5】

請求項 2 又は 3 記載の薬液投与装置において、

前記シリンジホルダは、前記バレルを収容するホルダ胴部と、前記ホルダ胴部よりも縮径して前記ホルダ胴部の先端から前記先端方向に延出したホルダ先端筒部とを有し、

前記複数の可撓腕は、前記ホルダ胴部の先端から前記先端方向に突出し、前記可撓腕の径方向内端が前記シリンジの前記先端部の外周面に当接する、薬液投与装置。

【請求項 6】

請求項 2 又は 3 記載の薬液投与装置において、

50

前記シリンジホルダは、前記バレルを収容するホルダ胴部と、前記ホルダ胴部よりも縮径して前記ホルダ胴部の先端から前記先端方向に延出したホルダ先端筒部とを有し、

前記可撓腕は、前記ホルダ先端筒部の基端から前記基端方向に突出し、前記可撓腕の内面が前記シリンジの前記先端部の外周面に当接する、薬液投与装置。

【請求項 7】

請求項 4 記載の薬液投与装置において、

前記キャップの外周面には、該キャップの先端と基端との間に段差部を有し、

前記段差部の先端側に前記複数の可撓腕に係合される、薬液投与装置。

10

20

30

40

50